

木もれびの森 ゆっくりウォーキング in 秋

こもれびの森で遊ぼうよ
この木なんの木を探検しなごらゆるりゆきましょ。



番号	ポイント	この木なんの木
1	葉はかまのようになり、さわるといらい、自然にしない木。葉のたむに使う。葉はこまにすくって粉にする。まぶすにつづ。	スズキ
2	葉のうしろの葉の裏に白い毛(はう)がある。サカサネのよな葉がつく。木の葉がわり、秋葉(あきば)にも使う。健康葉として使っている。	ヒノキ
3	ざやせうといはばこの木。葉の形はすんぐりしている。葉のへりは、あらいざやぎざぎざになっている。どんぐりはやや細長い。葉裏はこまにすくっている。	コナラ
4	葉の形はやや細長い。葉のへりはあらいざやぎざぎざで、せんんは幹のようになっている。どんぐりは丸い。葉裏はこまにすくっている。	クヌギ
5	葉の形はすんぐりして、へりにこまにすくってぎざぎざがある。木のみにみても目もよすががある。葉には、ほねが残り、まどまつ。	イヌシデ
6	葉のへりはへりにこまにすくって、葉は裏こられる。葉のついでが長く、ツツのようになる。木にすくって粉にする。まぶすにつづ。	シロシ
7	葉の本末がよさがる。葉のうしろの葉の裏に、白い毛がある。こまにすくって粉にする。まぶすにつづ。	ニガキ
8	葉が厚い。葉のうしろの葉の裏に、白い毛がある。こまにすくって粉にする。まぶすにつづ。	マユミ
9	葉はだんたん厚く、葉のうしろの葉の裏に(みづせん)がある。みきは、葉にすくって粉にする。まぶすにつづ。	マツグサ
10	大きな葉。葉のうしろの葉の裏にこまにすくって、葉は軽く、等(この)の材料になる。葉裏にも使われる。昔手紙の葉の木。	シロ
11	葉は大きめで、葉のへりのぎざぎざはあらい、木の葉も緑色している。木の葉がつかう。葉のうしろの葉の裏にすくって粉にする。	アサキ
12	葉は厚い。葉のうしろの葉の裏に、白い毛がある。こまにすくって粉にする。まぶすにつづ。	トウカエデ
13	葉は厚い。葉のうしろの葉の裏に、白い毛がある。こまにすくって粉にする。まぶすにつづ。	ガマズミ
14	葉は厚い。葉のうしろの葉の裏に、白い毛がある。こまにすくって粉にする。まぶすにつづ。	ニシキギ
15	葉は厚い。葉のうしろの葉の裏に、白い毛がある。こまにすくって粉にする。まぶすにつづ。	アカマツ
16	葉は厚い。葉のうしろの葉の裏に、白い毛がある。こまにすくって粉にする。まぶすにつづ。	ムラサキシキブ
17	葉は厚い。葉のうしろの葉の裏に、白い毛がある。こまにすくって粉にする。まぶすにつづ。	スギ



10 キリと実



13 ガマズミの実



12 トウカエデ

8 マユミの実



2 ヒノキと実



16 ムラサキシキブの実



14 ニシキギ



15 アカマツと葉



9 ヤマザクラ



5 イヌシデ



1 スギと実

7名の参加者と会員8名で開催実施しました。今回の趣向は、木もれびの森にある約50種の樹木の内、17種を見て回ろうとの企画でした。木の見分け方は、花(形・開花時期など)・葉(大きさ・形・つき方など)・実・木肌などがあります。一つひとつ丁寧な解説がありました。多少時間がオーバーした充実な時となりました。

NPO法人相模原こもれびのトップページ右下の「木もれびの森の珍しい木」のマップが見られます。17種の全部はありません。
<http://www.npo-komorebi.com/2016img/mezurasiiki.pdf>

次回は来年3月21日(水)です。

